

2023年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築構造・設備概論											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	15	単位	1
担当教員	藤原 正城			実務経験	有	職種	設備設計／設備設計一級建築士、建築設備士				
担当教員紹介											
専門学校の設備実習助手として6年間勤務し、その後建築設備の設計・監理および工事管理の実務に携わる。独立後は建築設備事務所を開設し、指定確認検査機関（建築確認業務）で設備担当の業務をメインに行っている。											
授業概要											
構造設計に必要な基礎知識、照明・配線など電気設備の基礎について学ぶ。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。①軸組模型作成を通して、在来工法の仕組みと各部材の納まりを理解し、精度の高い模型を完成させる。 ②設備図を読み解き、配線、配管の経路とそれぞれの役割について理解する。 ③実際設置されている設備と設備図を見比べ理解を深める。											
授業方法											
実際の設備図、構造図をもとに講義と実習を中心に講義を進める。 構造については模型用の角材を加工、組み立てを行い、設備については設備図をもとに生活する上で必要不可欠な水、ガス、電気、空調がどのように計画されているのかを読み解き、キャンパス内の設備を見学することで実際に目で見て理解を深め、図面に着色する等の課題を実践、提出、教員の評価を通して理解度を深める。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
授業には集中して取り組み、見学等で移動する際は教員の指示に従うこと。安全のためむやみに機器に触れないこと。 授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。 日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
初学者の建築講座建築設備市ヶ谷出版 ／ 第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善出版											
回数	授業計画										
第1回	設備業界の現状										
第2回	設備実施図の解説①										
第3回	設備実施図の解説②										
第4回	設備実施図の解説③										
第5回	設備実施図の解説④										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築構造・設備概論	
第6回	設備図の作成①
第7回	設備図の作成②
第8回	施設の設備見学
第9回	構造業界の現状
第10回	木造軸組模型作成①
第11回	木造軸組模型作成②
第12回	木造軸組模型作成③
第13回	木造軸組模型作成④
第14回	木造軸組模型作成⑤
第15回	まとめ